

## 第2回 難聴幼児・児童・生徒の交流会開催の御案内

日時 平成21年3月20日(金・祝日) 10:00～15:00

場所 愛媛大学教育学部4号館 北21、プレールーム、体育館

内容 幼児・小学部会: 遊びを通しての子ども同士の交流

中学・高校部会: 午前 『難聴の先輩の話进行こう!!』(小学生の希望者も参加可)

午後 運動や遊び

※お昼は、みんなで鍋を囲みながら親交を深めたいと思います。

参加費 小学生以下 無料

小・中学生 一人 500円

高校生以上 一人 1000円

対象 難聴児及びその家族(兄弟姉妹も含む)

参加申込みは… FAXで、3月18日(水)までに高橋研究室まで

連絡・お問い合わせは…

愛媛大学教育学部障害児教育講座

高橋研究室

Tel&Fax: 089-927-9514

## 「人工内耳教育セミナー」開催の御案内

平成21年度愛媛大学公開講座

「人工内耳教育セミナー」 一人工内耳装用児の教育における取り組みの実際ー

日時 平成21年3月14日(土) 9:00～17:00

場所 愛媛大学教育学部北21教室(松山市文京町3番 Tel:089-927-9514)

対象 聴覚障害の教育およびリハビリテーションにかかわる学校・学級・施設等の教職員

定員 40人

申込方法 3月10日(火)までに、受講料2,000円を送金の上、講習料振り込み証明書を、愛媛大学公開講座宛に送付する必要があります。御不明の点は、下記高橋信雄宛にお尋ねください。

9:00～ 受付

9:30～11:00 人工内耳装用児の指導とリハビリテーションの基礎 高橋信雄(愛媛大学)

11:00～12:00 幼児人工内耳評価について 高橋真由美(十全医療学院)

13:00～14:00 幼稚部における人工内耳装用児の指導 樋口恵子(徳島県立聾学校)

14:00～15:00 小学部 //

15:00～16:00 通級指導教室における人工内耳装用児の指導 平島ユイ子(博多小学校)

16:00～17:00 質疑とまとめ

問い合わせ先: 〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学教育学部 聴覚言語 高橋信雄 宛

(電話 089-927-9514)

受講申込先: 〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学教育学部 学務係 「公開講座」係り 宛

(電話 089-927-9377)

## リオンから、補聴器カバー 発売。 補聴器の東神で購入できます。

耳掛け型補聴器の汗対策用カバーが発売になりました。全3色(茶・水色・ピンク)で、サイズは「大」と「中」の2サイズです。聴能室に見本があります。

価格 1個300円+税



付け方: 取扱説明書より

補聴器につけた状態

### ★補聴器カバーの特長★

※取扱説明書より



※1 大量の汗をかいた場合は肌に張り付くことがあります。  
 ※2 汚れたら、洗濯してください。ただし、洗濯の繰り返しにより劣化することがあります。

## 書籍紹介 『わかる!できる!おやこ手話じてん』

全国早期支援研究協議会 編 東邦出版 定価 1,800円+税

同協議会から出版された『パパといっしょにハッピーサイン 手話で子育てしよう 子どもの1日編』定価 1,500円+税に続く、手話の本第2弾です。幼児さんに使う手話を学べます。

個人的に気になるのは、『パパと...』同様、松聾卒業生が、制作に協力している点です...



## 文字で表示される AED

障害者権利条約の趣旨に基づき、障害者自立支援法などの国内法制度の見直しが求められています。この度、全日本聾啞連盟によって、国に対して、聴覚障害者の福祉施策への要望がなされました。

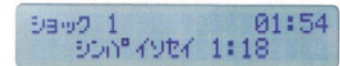
要望は、大まかに以下の通りです。

1. 聴覚障害者情報提供施設について
2. 障害者自立支援法の見直しについて
3. 日常生活用具の給付について
4. AED (自動体外式除細動器) について



### テキストディスプレイ搭載

一般の方にも分かりやすい音声ガイドとともに、テキストディスプレイで操作手順の確認ができるため、あらゆる状況で落ち着いた確実な操作へ導きます。操作手順はもちろんのこと、AEDを使用した経過時間、ショック回数、心肺蘇生経過時間を視覚的に確認することが可能です。



(米) カルディアック・サイエンス・コーポレーション製

特に4についての要望は以下の二つの具体的事項が挙げられましたが、聾学校にとっても大事なことだと思います。

(1) 近年、AEDの普及が全国的に進み、駅、公共施設、企業等に急速に設置されていますが、聴覚障害者がAEDを使用してもその音声メッセージが聞こえず困ることがあります。音声と文字表示のあるAEDの製造義務化、それに切り替える作業をするよう、関係機関に働きかけてください。

(2) 今後製造発売されるAEDは、ユニバーサルデザインの理念に基づき、誰でも使える機能を義務付けするよう、薬事法、AHA国際ガイドラインに働きかけてください。

聾学校には聴覚障害の教員も在職し文化祭ではOBが集まる機会も多くあります。音声ガイダンスだけでなく、文字ガイダンスの機能がついたAEDが早急に必要施設だと思います。

## 聞こえのバリア解消への提言

国のバリアフリー関係の審議会の委員を歴任したワールドパイオニア社の中園秀喜氏により、このほど情報バリアの撤廃を目指した「聞こえのバリア解消への提言」が出版されました。この本では、聴覚障害者のバリアが身体障害者にとってのバリアとは全く異なるものであり、「情報バリア」とも言うべきものであること、そして現在の障害者関連の法律では情報バリアの完全な解消にはつながらないという問題が山積みであるということなどを指摘しています。また、大学、病院、交通機関、公共機関などにおいて、常日ごろ、聞こえない人たちがどのような情報バリアに遭遇し、それに対して具体的にどのような改善を行えばバリアが低くなるか、ハード、ソフト両面からの提言を行っています。

併せて、先週、NHK 教育「ろうを生きる・難聴を生きる」でもこのテーマで放映されたものが再放送されますので、以下御案内いたします。

再放送（翌日曜） 3月 1日 19:30～19:45

再々々放送（翌金曜）3月 6日 12:45～13:00



『「聞こえ」のバリア解消への提言』～共生社会を目指して～

価格：1700円（税別） 著書：中園秀喜

NHK 出版

## 聴覚障害支援・研究は、いろんな分野に広がってきています。

### 日本聴覚障害者心理協会

略称「聴心会」を御存知でしょうか。聴覚障害の「カウンセリング」「心理研究」「メンタルヘルス」の3本柱をもとに、研修や様々な支援活動を行うための会です。

まだ産声をあげたばかりということもあり、知名度も今ひとつですが、少しずつ地固めが進められています。近年のストレス社会の狭間で、聴覚障害ゆえに起こる独特のストレスは計りようもないもので、実に多くの聴覚障害児・者が様々な悩みや不安を抱えています。

定例会もあり、聴覚障害児・者の心理特性研究をされる臨床心理士を迎えた講演会も開かれています（下記HPを参照）。開催地が東京ということで参加は難しいのですが、このような分野へも聴覚障害支援が広がっていることを御承知おきいただければと思います、紹介してみました。

詳細については <http://www.kit-cat.jp/membership.html> をご覧ください。

### 母語・継承語・バイリンガル教育研究会

略称「MHB 研究会」といいます。バイリンガル教育を必要とする児童生徒の言語教育を対象とした研究会です。

この中で扱う領域として、「聾児のためのバイリンガル教育」ということで研究が進められており、日本語教育や母語の教育を必要とする子どもたちへの指導への知見が得られます。

詳細については <http://www.mhb.jp/> をご覧ください。

## 聴覚障害を扱ったミステリー小説ってあるの？

質問を受けたし、柔らかい情報もと思い…聴覚障害を扱ったミステリー小説をほんの一部ですが紹介してみたいと思います。興味を持って探してみると、他にも、見つかるかもしれませんよ。

### 『口に出せないから〈上・下〉』 サンドラ・ブラウン著、吉澤康子訳 (新潮文庫)

耳の聞こえないアンナが、脱獄した凶悪犯で、実は亡夫の異父兄に狙われるロマンティックサスペンス。耳の聞こえないアンナと息子のやり取りが心を温めてくれる。



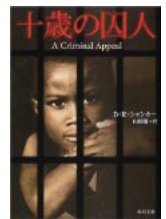
### 『死体は訴える』 ペニー・ワーナー著、吉澤康子訳(ハヤカワ文庫)

耳の聞こえないコナーは、地元で新聞を発行している。ある日妹を探す広告を頼まれるが、翌日その依頼人が墓地で自殺していた。死体の格好から、自殺でないと思ったコナーは、独自に調べ始めるが……。



### 『十歳の囚人』 D・R・シャンカー著、山田蘭訳、角川文庫

十歳のろうあの子の黒人少年デクスターは凶悪殺人の罪により禁固五五年を言い渡された。判事助手は調べるうちに事件がえん罪ではないかという疑問を抱き始めるのだが……



### 『静寂の叫び〈上・下〉』

ジェフリー・ディーヴァー著、飛田野裕子訳、早川文庫

聾学校の生徒と教員を乗せたスクールバスが、三人の脱獄囚に監禁された。廃屋同然の食肉加工場に立てこもった犯人側と、FBI危機管理チームのポターは交渉に臨むが、生徒の一人が凶弾に倒れてしまう。『デッド・サイレンス』という映画化されました。



### 『四つの終止符』 西村京太郎著 講談社文庫

下町のおもちゃ工場で働く晋一は耳の不自由な青年だった。ある日、心臓病で寝たきりの母が怪死する。栄養剤からひ素が検出されたとき、容疑は晋一に集中した。すべてが不利な中で彼は無実を叫びつつ憤死する。そしてなじみのホステスも跡を追う。彼を罠にはめたのは誰？ヒューマニズムに裏打ちされた秀作。



### 『鍵』 乃南アサ著、講談社文庫

高校2年生の麻里子のカバンに、知らぬ間に1つの鍵が押しこめられた——。近所で連続して起きる通り魔事件は、ついに殺人にまでエスカレート。父も母もいなくなった障害を持つ女子高生と、その面倒を見なければいけなくなった兄や姉との心の通い合いをも見事に描いたミステリー。



### 『窓』 乃南アサ著、講談社文庫

私は、どこへ行けばいいんだろう。高校3年生の麻里子は、進学や友人関係など変わりゆく周囲にとまどう。そんな彼女のまわりで起きた毒入りジュース事件。事件にかかわる少年が自分と同じ聴覚障害を持つと知り麻里子は……。思春期の少女の微妙な心模様と家族の愛情を描いた、『鍵』に続く傑作青春ミステリー。



## 「愛媛県難聴児を持つ親の会」を紹介します。

聴覚障害に関する機関や団体の紹介もしていきたいと思います。まず、最初は、「難聴児を持つ親の会」です。会長さんから原稿をいただきました。

### 『愛媛県難聴児を持つ親の会』

会員は、聴覚障害を持つ幼児から社会人まで約40名ほどです。ろう学校の生徒さんもいらっしやいます。

活動としては、愛媛大学の高橋研究室と連携して、「担任者会」を実施し、県下に在学する難聴児を担当する先生方（小・中・高校）への聴覚障害児童生徒の理解と相互理解に努める活動を行っています。これには、保護者も参加しています。また、「おしゃべりの会」を実施しています。主に大学生に発表してもらい、中高生を中心とした集まりの場を企画しています。幼児・小学生・保護者も集まります。

会員には、会報「プレイ」や、「べる」(全国難聴児を持つ親の会 機関誌)が届けられます。

お互いに同じ障害を持つ親・子の悩みを話し合ったり、情報交換したり、助け合い子どもたちの成長を見守りながら、同じ障害を持つ子どもが集う機会を作りたいと思って活動しています。

聴覚障害の育児や教育で、悩んだり、困っている方、いっしょに活動してみたい方、御連絡ください。

<連絡先> 〒790-0811 松山市本町6-11-5 愛媛県視聴覚福祉センター 難聴者協会内  
愛媛県難聴児を持つ親の会

Fax (089)927-1133



「全国難聴児を持つ親の会」では「聴覚障害児の理解のために」の小冊子も発行しています。

★第29集「聴覚障害のある子どもを母語のない子にしないために」井上智義著、H17 発刊、定価 400 円

★第28集「改訂版 補聴器の上手な使用法」立入哉・長安康憲・中瀬浩一著、H13 発刊、定価 400 円

★第27集「聴覚障害をのりこえて学力を高める」柳生浩著、H12 発刊、定価 400 円

★第26集「幼稚園・小・中学校の先生の質問に答えて」井上皓太郎・今井秀雄・金山千代子著、H10 発行、定価 300 円

…など、あります。